



令和2年3月29日

(一社) 大阪府サッカー協会
理事・監事 各位

(一社) 大阪府サッカー協会
会長 赤須 陽太郎
スポーツ医学委員長 天野 大

感染症対策の実施について（依頼）

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い各種別委員会、各登録チーム関係者の皆様にはご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。一刻も早く事態が収束し、日常の生活を一日でも早く取り戻す為に、今は全事業の活動を中止・延期すべきであるという決断を致しました。ご理解くださいますようお願い致します。

改めて、医学委員会と連携し、基本的な対策として下記に記載致しましたので関係各位へのご周知くださいますようお願い致します。

皆様一人ひとりの行動が今後の感染症に打ち勝つ為に重要であります。ご理解、ご協力をお願い致します。

基本的な感染症対策の実施

1. 感染源を絶つ

毎朝検温や風邪症状を確認し、異常があれば自宅で休養する

2. 感染経路を絶つ

手洗い・咳エチケットの徹底（首相官邸ホームページより）

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

飲水ボトルやビブスの共用は控えましょう。

ビュッフェ形式の食事は控えましょう。共用のトイレでは使用后必ずフタを閉めましょう。

3. 抵抗力を高める

規則正しい生活を心がけましょう。

集団感染への対応

以下の3つの条件が重なることを徹底的に避ける

1. 換気の悪い密閉空間にならないように換気の徹底

ロッカールームなどは換気を徹底しましょう。

2. 多くの人が手の届く距離に集まらないようにする配慮

ベンチやロッカールームは互いの距離が近いので要注意です。ロッカールームへ同時に入る人数を制限する等の工夫しましょう。

3. 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える

選手・スタッフの体温や体調（せき、頭痛、食欲、だるさ、喉の痛み、睡眠時間など）などの健康状態をモニタリングしてチームで把握しましょう。また、万が一に備えて簡単な行動記録をメモしましょう。感染経路の特定に役立ちます。

発熱や風邪症状があれば、自宅で休養しましょう。37.5度を越える熱（あるいは平熱+1度）が4日以上続く場合や強いだるさ、呼吸苦などがあればチームドクターや帰国者・接触者相談センターに相談しましょう。

一人一人の行動や意識が重要です。各々が責任を持った行動をしましょう。